

東京大学生産技術研究所と工学系研究科社会連携推進室が新たな産学連携「未来開拓型連携」をスタート

第一弾として重工重電 4 社と「持続型社会研究協議会」を発足

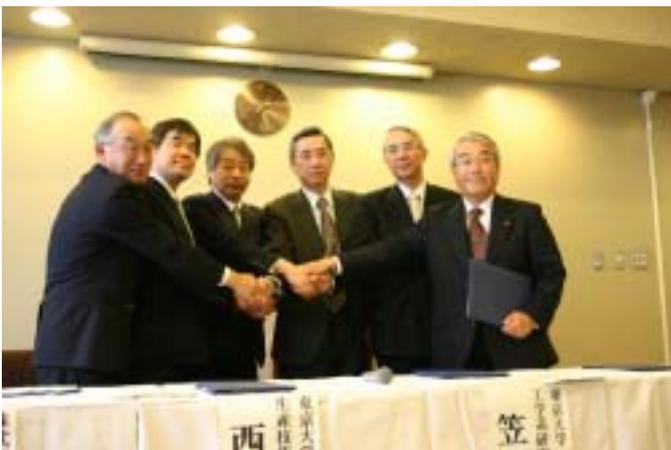
東京大学の生産技術研究所と大学院工学系研究科総合研究機構社会連携推進室は、大学と企業が対話を行いながら、それぞれの強みを生かして、相乗効果を発揮し、科学技術の向上と産業競争力の強化を通じて広く社会に貢献するために「未来開拓型連携」という新しいスキームによる産学連携をスタート致しました。その第 1 弾として、石川島播磨重工業株式会社、株式会社東芝、株式会社日立製作所、三菱重工業株式会社の 4 社と、持続型未来社会に対するビジョンを構築・共有し、これを実現することを通じて社会に貢献することを目的として、「持続型社会研究協議会」を発足させ、6 者の合意にもとづき、その協議会規約に署名をしました。(平成 16 年 3 月 29 日 午後 2 時; 於 東京大学山上会館)

生産技術研究所は、工学領域の分野の壁を越えた融合的基礎研究に加え実技術への結実を目指しています。また、工学系研究科総合研究機構社会連携推進室は、工学及び情報理工学の周辺領域も含めた体系的な教育・研究を担う工学系研究科、情報理工学系研究科の専攻や教官グループの社会連携活動を促進する機能を果たします。今回、工学という共通の領域をドメインとする上記部局が協力して、新たな連携スキームを開始することとなりました。

本協議会の具体的な活動項目は次のとおりです。

- (1) 社会の持続・発展を可能とするビジョンの設定
- (2) ビジョンに基づく未来社会のグランドデザインの策定
- (3) グランドデザインからのバックキャストによる長期的な技術ロードマップの策定
- (4) 上記技術ロードマップに基づく、必要な連携計画の立案と実施

本協議会が取り扱う当面のテーマは、「持続型社会実現のための循環型エネルギー技術」とします。今後、早期に、上記のグランドデザインとロードマップを策定し、社会や国に提言するとともに、本協議会のコミットメントとしてその実現を目指します。



左から、石川島播磨重工業 中川幸也 常務、東芝 東 実 上席常務、西尾茂文 生産技術研究所長、笠木伸英 社会連携推進室長、日立製作所 中村道治 専務、三菱重工業 柘植綾夫 常務。